ＩＳＳＮ 0285－4767

北海道考古学会だより

第　120　号
２０１８．３．９

目　次

2018年度北海道考古学会総会・研究大会の開催について……1
2018年度総会について……1
2018年度研究大会「北海道の縄文人の登場」……1
2017年度遺跡調査報告会の実施報告……2
運営委員の補充のお知らせ……4
月例研究会のお知らせ……4
事務連絡……4
新入会者のお知らせ……4
会費納入についてのお願い……4

2018年度北海道考古学会総会・研究大会の開催について

2018年度総会について

2018年度総会を研究大会と同一会場で開催します。総会は会員が会の運営に直接参加する重要な機会ですので、多くの会員の出席を期待します。なお、やむをえず欠席される予定の会員は、４月13日（金）（事務局必着）までに必ず委任状を提出されるようお願いいたします。

日　時：2018年５月12日（土）11：10～
会　場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟１階 W103教室

2018年度研究大会「北海道の縄文人の登場」

日　時：2018年５月12日（土）10：00～17：00　（９：30開場）
会　場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟１階 W103教室
交　通：札幌駅より徒歩15分、北大総合博物館の正面建物、玄関入って左手の大教室
テーマ：「北海道の縄文人の登場」
趣　旨：北半球で起きた過去20万年の気候変動の研究をもとに、東アジアにおけるホモ・サピエンスの拡散ルートと縄文人の起源を古人骨研究から検証する。あわせて、北海道の旧石器と縄文早期にかけての考古学的成果から、環境変動への適応について理解を深めることを目的とする。

今回の大会では、人類学、古環境学、考古学の各分野から、近年の研究成果を紹介して頂き、北海道における縄文文化研究の基盤としたい。

日　程：

9：30	開　場
10：00	開会挨拶　講師紹介
10：10～11：10	川幡穂高氏（東京大学） 「寒冷イベントが作る日本の社会」
11：10～11：45	北海道考古学会総会
11：45～13：00	昼休み
13：00～13：15	北海道考古学会賞・奨励賞授賞式
13：15～14：15	松村博文氏（札幌医科大学） 「ホモ・サピエンスのユーラシアへの拡散とアジア人の起源」
14：15～15：15	北沢　実氏（前帯広百年記念館　館長） 「旧石器時代から縄文時代早期にかけての遺跡から解る人類の環境適応力」
15：15～15：25	休　憩
15：25～16：25	内田和典氏（北海道教育庁） 「東北アジア土器出現期の文化変化とその背景」
16：25～16：30	休　憩
16：30～17：00	討　論
17：00	閉　会　閉会挨拶
17：30～	懇親会（場所未定）

※発表のタイトルおよび順番は変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※資料集を2,000円で販売します。
※会員のほか、道民カレッジ連携講座に登録されている方や一般の方も参加可能です。
※研究大会閉会後、懇親会を行う予定です。詳細は当日ご案内いたします。

2017年度遺跡調査報告会の実施報告

今年度の遺跡調査報告会は、2017年12月９日（土）に、北海道大学学術交流会館にて開催されました。2017年に道内で行われた発掘調査は51件です。今回はその中の一部と、前年度調査した整理中の遺跡を含めた11遺跡・９件が報告されました。

報告遺跡は道内各地域に及び、時期も縄文時代早期から近世（アイヌ文化期）までと多岐に渡る発表となりました。縄文時代の盛土遺構を伴う集落跡の様子や（厚真町厚幌２遺跡・オコッコ１遺跡、木古内町幸連５遺跡）、恵庭市からはユカンボシ川流域の遺跡の紹介など、厚真町からは縄文時代の道内各地との交易ルートの検証や、厚真川上流域の遺跡で検出された11世紀頃の送り場的な祭祀遺構跡が報告されました。また、豊浦町礼文華遺跡の報告では、全天球360°カメラによる記録手法の導入や、オホーツク文化期のチャシコツ岬上遺跡では、集落跡から見えるオホーツク海の眺望範囲の二次元投影が試みられました。

当日は一般市民の方々も含め130名を超える来場があり、資料集も即日完売し（資料集のご要望にはPDFデータにてお応えすることになります）、遺跡に対する道民の関心の高さが伺われました。発表者の方々には貴重な時間を割いてご準備頂きましたので、ここに重ねて感謝を申し上げます。

なお、報告会終了後には大学構内の中央食堂にて懇親会が催され、和やかな雰囲気の中で発表者の方々との情報交換と交流が行なわれました。次回も会員の方々には奮ってご参加いただけますようお願いします。

〔発表遺跡〕① 厚真町　厚幌２遺跡・オコッコ１遺跡　立田　理
② 厚真町　新町遺跡・富里１遺跡　乾　哲也
③ 恵庭市　ユカンボシE11遺跡　鈴木将太
④ 伊達市　カムイタプコプ下遺跡　三谷智広・添田雄二
⑤ 豊浦町　礼文華遺跡　小杉　康
⑥ 礼文町　浜中２遺跡　平澤悠・久保大輔＊
⑦ 木古内町　幸連５遺跡　福井淳一
⑧ 斜里町　チャシコツ岬上遺跡　平河内毅
⑨ 根室市　温根沼２遺跡　影浦　覚

＊当日、浜中２遺跡の発表者に久保大輔氏が加わりましたのでご氏名を追記します。

運営委員の補充のお知らせ

2017年度総会で承認された運営委員の補充につきまして、下記の通り新委員が選任されましたので報告します。

新任　　鈴木　建治

月例研究会のお知らせ

【今後の予定】

2018年６月（日時・会場未定、北海道大学での開催を予定しています）

種市幸生氏：比羅夫北征記事をいかに読み解くべきか－粛慎＝オホーツク文化人説はほんとうか？

※日時・会場の詳細は、決定次第、ホームページでお知らせいたします。

※会員の皆様で、月例会での研究発表を希望する方は北海道考古学会事務局（hokkaidokoukogakkai@yahoo.co.jp）までご一報ください。

新入会者のお知らせ

荒谷　博　　岩波　連　　影浦　覚　　＊敬称略

会費納入についてのお願い

会の運営には、会員の皆様のご協力が不可欠です。会費の年内納入にご協力いただきますようお願いいたします。また、本年度を除く過去３年以上の会費が納入されていない会員には、北海道考古学会誌を送付しておりません。会費納入を確認後、送付いたします。

郵便局口座番号：02770-6-8358　　加入者名：北海道考古学会

年会費：（一般）5,000円　（学生）3,500円

北海道考古学会だより　　第120号　　2018年３月９日　発行

発行所　北海道考古学会（ホームページ：http://haa.main.jp/cms/index.html）

事務局：〒059-0014　北海道登別市富士町７丁目33-1

登別市教育委員会　社会教育グループ気付　北海道考古学会事務局

TEL　：(0143)88-1129

FAX　：(0143)85-9744

E-mail：hokkaidokoukogakkai@yahoo.co.jp

印　刷　北海道図書企画　　(011)668-1131